

The 48th Interim Business Report

第48期 中間報告書

2014年6月1日 >>> 2014年11月30日



証券コード：9651

 日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

私たちは、社会の安全・安心、快適・便利な生活の実現を目指しています。



代表取締役社長 上石芳昭

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、2015年5月期の中間期における事業概況についてご報告申し上げます。

■ 当社の概況

**売上高は前年同期比13.8%の増加、
営業利益は前年同期比135.2%の大幅増加**

わが国経済は、個人消費などに弱さが見られるものの、各種政策の効果もあり大企業を中心に企業収益が改善しており、緩やかな回復基調が続いています。情報サービス産業については、ソフトウェア投資は緩やかに増加してお

り、受注環境においても案件が増加し回復傾向が継続している一方で、人材のリソース確保は困難になってきています。

当社の経営成績につきましては、一部で当初計画より検収が前倒しとなったことや受注が概ね順調だったことなどで、売上は前年を上回りました。さらに、新入社員の現場へのアサインが早期にできたこと、全社的に技術者の稼働率が向上したことや瑕疵対応が減少したことなどで、利益は前年を大きく上回りました。

| | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 売上高 | 営業利益 |
| 2,733百万円 +13.8% 前年同期比 | 247百万円 +135.2% 前年同期比 |
| 経常利益 | 四半期純利益 |
| 263百万円 +113.0% 前年同期比 | 159百万円 +148.8% 前年同期比 |

■ 各セグメントの状況

**ITサービスは売上が微減となるも、
他のセグメントは売上、利益とも好調**

制御システムでは、火力発電所向け監視・制御システムは、システムの更新期間に入ったことで更新案件が堅調に推移しました。自動車の制御システムは、次世代自動車向け電動化システムの開発などが堅調に推移しました。さらに、制御システム全体で、作業量が増加し技術者の稼働率

が向上したことや新入社員の現場へのアサインが早期にできたことなどで、利益は前年を大きく上回りました。

交通システムでは、新幹線の運行管理システムは、開発サイクルが一巡しているため横ばいで推移しました。その一方で、在来線の運行管理システムはリプレース案件が堅調に推移したため、全体としては、売上高は前年を上回りました。また、前期に行った総点検により瑕疵対応が減少したことで、利益は前年より改善しました。

特定情報システムでは、地理情報案件は、前期末より製造フェーズが継続するなど堅調に推移しました。また、危機管理関連も複数の案件が輻輳し作業量が増加したことなどで技術者の稼働率が向上し、好調に推移しました。

組込システムでは、スマートフォンのプラットフォーム開発は、機種数の減少により作業量が減少したため体制を縮小しましたが、車載情報システムとストレージデバイスの組込システム開発が堅調に推移しました。また、前期に電子部品・半導体関連企業から新規に受託した開発案件は横ばいで推移しました。

産業・公共システムでは、公共向けにおいては、次世代駅務機器開発やICカード開発が堅調に推移し、前期に受託した官公庁向け気象案件は横ばいで推移しました。また、鉄道子会社向けのエンジニアリングサービスは堅調に推移しました。産業向けにおいては、スポーツ関連システムの

開発量が増加しました。

ITサービスでは、検証業務は、顧客の商品開発の減少やオフショア化により減少傾向にあるものの横ばいで推移しました。構築業務は、一部顧客での業績の影響により体制が縮小しましたが、その他は横ばいで推移しました。保守・運用業務は、会計システムや企業内情報システムが堅調に推移しました。

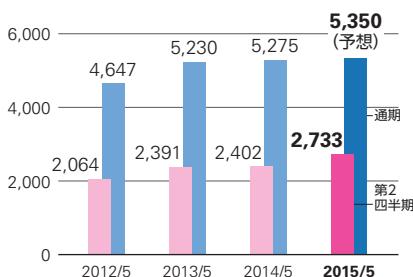
■ 株主の皆様へのメッセージ

当社は、社会インフラ分野を成長ドライバとして位置づけており、共同提案や共同開発などを通じて事業の効率化と収益力の向上を図るため、同分野に強いアドソル日進株式会社（東京都港区）と2014年8月に業務資本提携契約を締結し、競争優位性のあるビジネスの実現に向けて検討を開始しました。今後も企業価値向上のための取組みを進めてまいります。

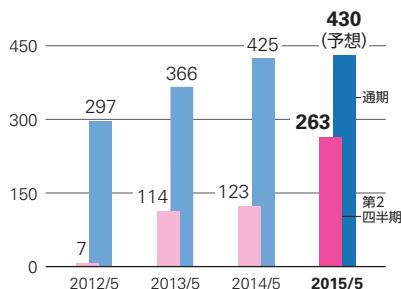
また、当社では、株主に対する利益還元を経営の重要指針として位置づけており、安定的な配当の継続と配当性向50%以上の配当を基本方針としております。当中間配当につきましても、1株あたり15円とし、年間配当は30円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

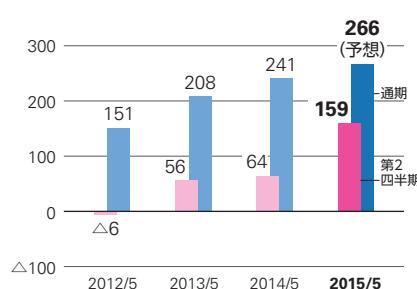
売上高 (単位: 百万円)



経常利益 (単位: 百万円)

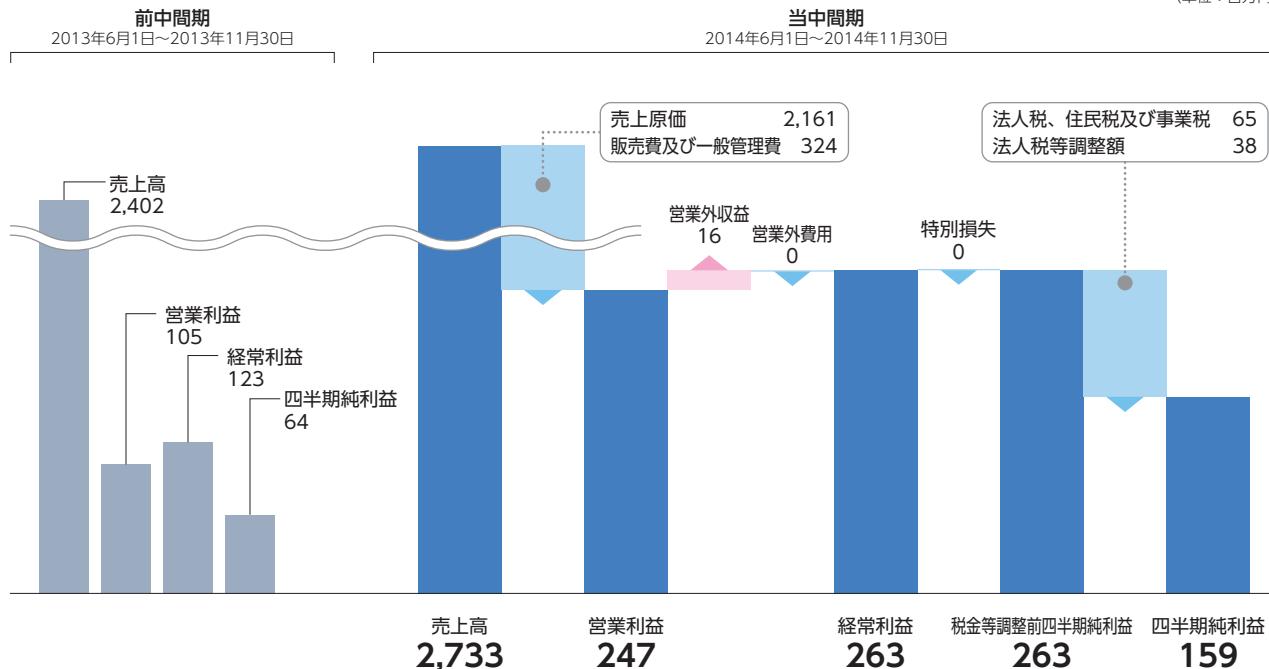


四半期(当期)純利益 (単位: 百万円)



連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



POINT 1

POINT 1

売上高

一部で当初計画より検収が前倒しとなったことや受注が概ね順調だったことなどにより、前期より3億30百万円増加しました。

POINT 2

POINT 2

営業利益

新入社員の現場へのアサインが早期にできたこと、全社的に技術者の稼働率が向上したことや瑕疵対応が減少したことなどにより、前期より1億42百万円増加しました。

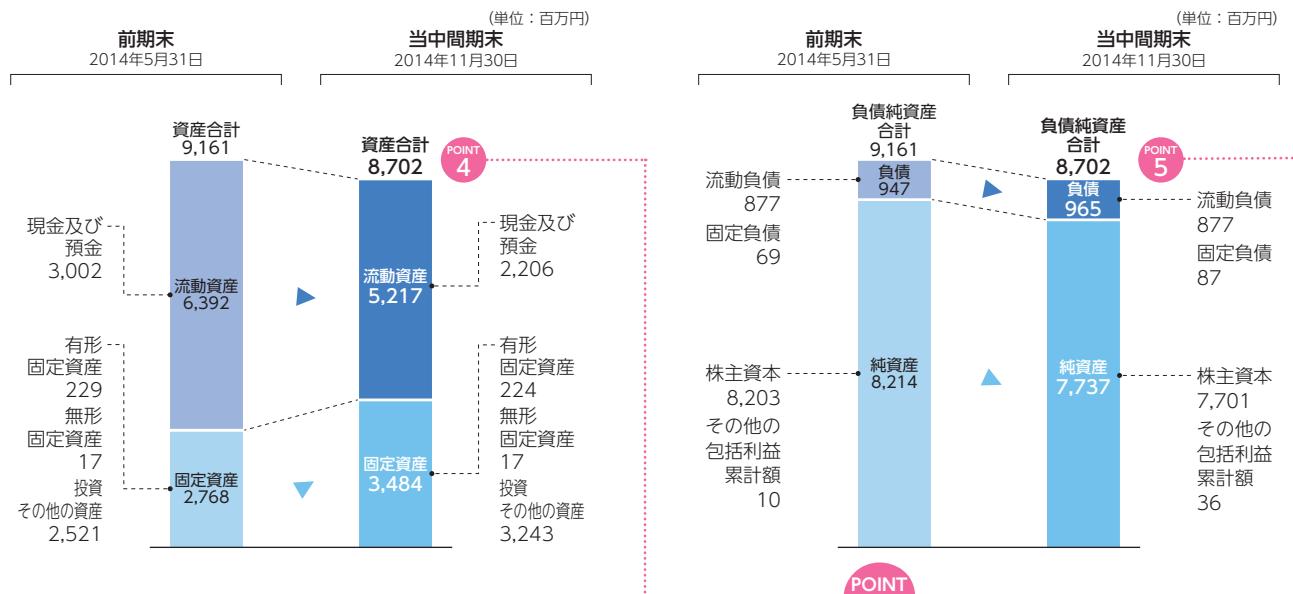
POINT 3

POINT 3

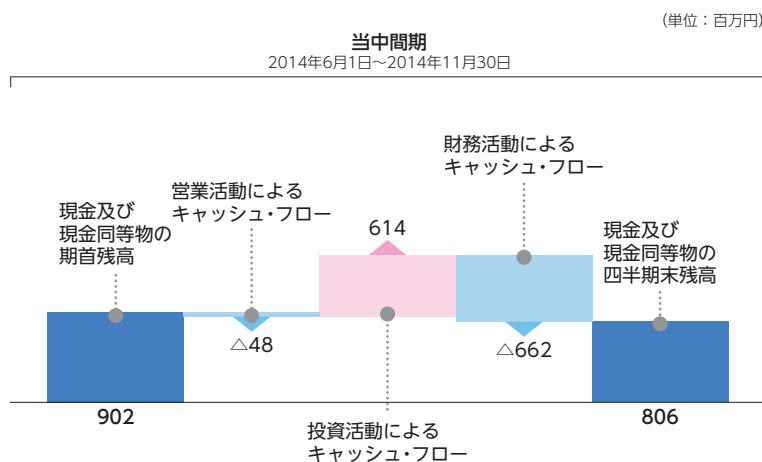
四半期純利益

営業利益が増加したことにより、前期より95百万円増加しました。

連結貸借対照表の概要



連結キャッシュ・フロー計算書の概要



POINT
4

資産合計

自己株式取得に伴い現金及び預金が減少したことにより、前期末に比べ減少しました。

POINT
5

負債純資産合計

自己株式の取得により、前期末に比べ減少しました。

POINT
6

キャッシュ・フロー

営業活動により使用した資金は、売上債権の増加等によるものです。
投資活動により獲得した資金は、有価証券の償還及び定期預金の払戻等によるものです。
財務活動により使用した資金は、自己株式の取得によるものです。

当社は創業以来、高度な品質と信頼性を要求される制御/組込システム開発を主力事業とし、「品質第一」に実績を積んでまいりました。

当社が長年にわたり培ったソフトウェアエンジニアリング技術を生かし、システム開発に留まらず、構築サービスや検証サービスにも事業分野を広げ、お客様に最適なベネフィットが提供できる「トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス」を目指しています。

制御システム事業



 安全・安心のサービスを社会に提供するエネルギー関連と自動車関連のシステム開発事業を展開しています。



組込システム事業



 携帯電話・スマートフォン、車載情報機器やストレージデバイスなどの組込ソフトウェアの開発を行っています。



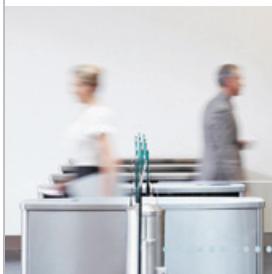
交通システム事業



 新幹線をはじめとする全国の鉄道運行管理システムの開発を行っています。



産業・公共システム事業



 様々な産業分野で活動する企業の個別システムや、社会インフラを支える公共システムの開発を行っています。



特定情報システム事業



 衛星画像の画像処理技術などを用い、社会の安全・安心を支えるシステムの開発を行っています。



ITサービス事業



 システムの構築・検証・運用/保守など、顧客の「モノづくり」に関わるサービス全般を包括的にサポートします。



会社概要 (2014年11月30日現在)

| | |
|---------|--|
| 会社名 | 日本プロセス株式会社 (JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.) 略称 JPD |
| 本店 | 〒105-6126 東京都港区浜松町二丁目4番1号 世界貿易センタービル26F TEL 03-5408-3351 (代表) FAX 03-5408-3289 URL http://www.jpdc.co.jp/ |
| 設立 | 昭和42年(1967年)6月 |
| 事業内容 | システム・インテグレーション及びソフトウェア開発 |
| 資本金 | 14億8,740万円 |
| 従業員(単体) | 548名 |
| 取引銀行 | 三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行 |

株式の状況 (2014年11月30日現在)

| | |
|----------|-----------------------------|
| 発行可能株式総数 | 22,980,000株 |
| 発行済株式の総数 | 4,922,550株(自己株式822,634株を除く) |
| 株主数 | 947名 |
| 大株主 | |

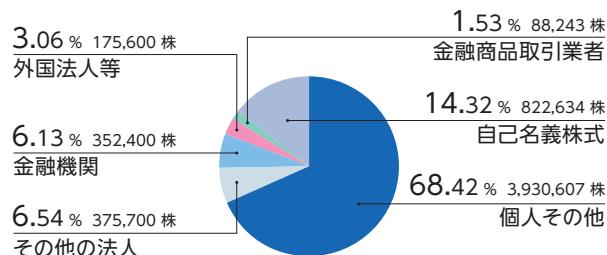
| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|-----------------------------------|---------|---------|
| 大部 満里子 | 624,470 | 12.69 |
| 大部 仁 | 549,823 | 11.17 |
| 大部 力 | 545,094 | 11.07 |
| 日本プロセス社員持株会 | 413,300 | 8.40 |
| 吉川 韶彦 | 377,011 | 7.66 |
| アドソル日進株式会社 | 311,000 | 6.32 |
| 第一生命保険株式会社 | 167,200 | 3.40 |
| 小泉 純子 | 152,311 | 3.09 |
| CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL | 147,400 | 2.99 |
| 萩野 正彦 | 125,724 | 2.55 |

(注) 持株比率は自己株式(822,634株)を控除して計算しております。

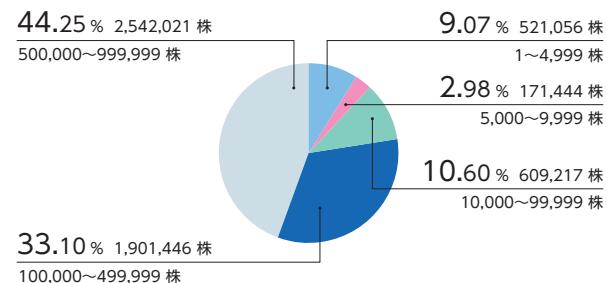
役員 (2014年11月30日現在)

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役会長 | 大部 仁 |
| 代表取締役社長 | 上石 芳昭 |
| 取締役 | 多田 俊郎 |
| 取締役 | 久保 裕 |
| 取締役(社外) | 諸星 信也 |
| 常勤監査役 | 岡竹 芳彦 |
| 監査役(社外) | 川上 弘 |
| 監査役(社外) | 椎名 健二 |

所有者別株式分布状況 (2014年11月30日現在)



所有株数別株式分布状況 (2014年11月30日現在)



株主メモ

| | |
|---------------------------|--|
| 事業年度 | 毎年6月1日から翌年5月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年8月開催 |
| 基準日 | 定時株主総会 毎年 5月31日 期末配当 毎年 5月31日 中間配当 毎年 11月30日 |
| 株主名簿管理人 及び 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人 事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (郵送物送付先) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | 0120-782-031 |

(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法
当社のホームページに掲載
<http://www.jpdc.co.jp/koukoku.html>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

貸借対照表及び
損益計算書の掲載URL <http://www.jpdc.co.jp/ir/>

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所 JASDAQ市場

ホームページのご案内

<http://www.jpdc.co.jp/>

トップページ



IR情報



決算短信、有価証券報告書、株主通信、説明会資料、株主総会資料をご覧いただけます。

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード
9651

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wj.m.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
- ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。



●アンケートのお問い合わせ [e-株主リサーチ事務局]

TEL : 03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL : info@e-kabunushi.com



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080